



2022年10月号

山形県最上総合支庁 隔月発行  
最新情報はツイッターでご覧ください



## 先輩方から県政に対するご意見を伺いました

8月31日、最上総合支庁において、様々な分野でご活躍されている最上地域の先輩方の知恵や知識を県政に反映するため、山形県知恵袋委員会（最上地域）を開催しました。

知事からの委員委嘱を県庁とオンラインで結んで執り行った後、「コロナ後を見据えた地域社会の再生について」をテーマに、最上地域の委員8名から様々な分野にわたるご意見をいただきました。いただいたご意見は、今後の施策を展開するうえで参考にしていまいります。

【令和4年度知恵袋委員（最上地域）（五十音順、敬称略）】

- ・浅井 真（最上町） ・小國 秀直（舟形町） ・黒沼 孝一（金山町）
- ・佐藤 雄次（戸沢村） ・柴崎 和恵（新庄市） ・庄司 ユイ子（真室川町）
- ・山科 博（鮭川村） ・横山 芳江（大蔵村） [総務課 29-1210]



## 小学生が一日知事体験！

8月1日に山形県庁で「子ども知事室」が開催され、県内4地域から小学5、6年生の子どもたちが2名ずつ参加しました。午前には吉村知事から一日知事の任命を受け、知事との懇談を行いました。

子どもたちからは「なぜ知事になろうと思ったのですか。」「コロナ対策としてどのようなことを行っていますか。」といった質問がされ、メモを取りながら知事の回答に耳を傾けていました。午後は工業技術センターを見学し、職員の説明を聞きながら山形県の産業を支える様々な技術を興味深く観察していました。

[子ども家庭支援課 29-1221]



## 交通事故のない社会の実現へ

9月2日、真室川町中央公民館にて、「第40回山形県交通安全母の会大会」が開催されました。

最上地区での開催は5年ぶりで、開式にあたり警察音楽隊の演奏や、真室川音頭保存会と真室川町連合婦人会による真室川音頭の舞踊がありました。大会では、県内各地から交通安全母の会会員約200人が集い、交通安全功労者の表彰や記念講演が行われ、交通事故のない社会の実現に向け、決意を新たにしました。

また、会場では、真室川町観光物産協会のご協力により、特産品の販売も行われました。

[防災安全室 29-1242]



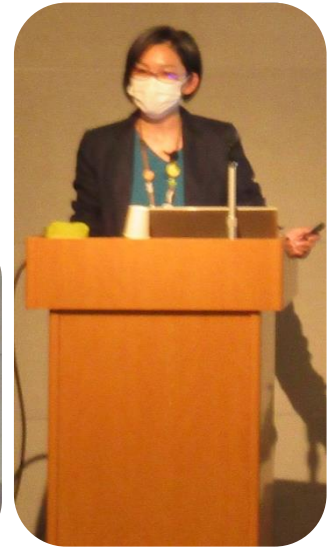
## 地域防災力の向上をめざして

9月6日、最上広域交流センター“ゆめりあ”「ホール・アベージュ」において地域防災力向上セミナーを開催しました。山形県自主防災アドバイザーの細谷真紀子氏を講師にお迎えし、『減災でつながり、共助を作り出す～いのちと暮らしを守るコミュニティ防災～』と題し講演をいただき、新庄市鳥越連合町内会事務局の細谷誠二氏からは、同町の自主防災組織の立ち上げについて、取り組みの現状をお話いただきました。

本セミナーは、自主防災組織の組織化を促進するとともに、活動活性化を図り、地域の防災力向上を図ることを目的に令和元年度から毎年開催しています。

参加者からは、「自助、共助、公助の重要性を改めて認識させられた。」「災害時の対応の仕方、防災意識の高め方を学ぶ事ができた。」「町内会での自主防災にも非常に参考になった。」等、多数の感想をいただきました。

[防災安全室 29-1209]



## “飛び出せ高校生技能実習”～土木技術者を育成中～

高校生が日頃の授業で学んだ技術が実際の現場でどう活かされているか、教室を飛び出して農地の区画整理や農業用水利施設、農道の整備の現場を「見て」「体験して」「感じて」もらうプログラムを、施工業者の全面協力のもと開催しています。

平成21年から新庄神室産業高校と連携した取り組みで、これまで69人が受講し、未来の最上地域を支える土木技術者40人を輩出しています。

今年、7月20日に大蔵村清水揚水機場で農業水利施設の役割を学習し、9月14日に舟形町三光堰地区における農地の区画整理の現場で現場密度試験の実習を行いました。今後さらに3回実施する予定です。

産学官が連携し、やまがたの明日をつくる「地域に貢献する土木技術者」を育成します。

[農村計画課 29-1339]



第1回(7/20) 農業水利施設研修



第2回(9/14) 現場密度試験実習

## 『生き物調査』で環境保全！！

農業者にとって営農しやすい環境を整えるには、適切な農業基盤の整備が必要です。区画拡大などを行う農地において、生き物へ与える影響も考慮しながら整備を進めています。

農村計画課では整備する前の地区の環境を把握し、整備後も生き物が住みやすい環境を維持できるよう、生き物調査を実施しています。生息する生き物を地域の方や行政関係者と調査することにより、生き物にも配慮した整備を行っています。



今回の調査は、9/14に金山町の<sup>たもきわ</sup>田茂沢<sup>がばさわ</sup>蒲沢地区、9/15に新庄市の畑地区で行いました。

今後、農地整備が盛んになっていく最上地方で、人間にとっても生き物にとっても快適な農地整備を目指します。

[農村計画課 29-1341]



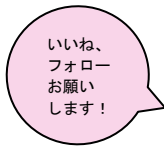
調査で見つかったサワガニ(左)とヤツメウナギ(右)

## 新庄・最上ジモト大学活動中!!

- ☺ 地元のことをよく知ろう!
- ⊕ もっと自分から積極的に語ろう!
- Ⓛ とともに本気で学ぼう!

をテーマに多くの高校生が学校を飛び出し、地域の大人とともに地域のヒト・モノ・コトについて学んでいます。

今回はプログラムの様子をご紹介します。



プログラムの様子はこちらの SNS からご覧いただけます。

[連携支援室 29-1239]

### 新庄市提供プログラム→

同市では昨年12月に手話言語条例を制定。ろう者の方からあいさつや自己紹介など簡単な手話を教わり、みんなで練習! 覚えが早くあっという間にマスターしていました。



### (株)ヌマザワ(葬祭業)提供プログラム→

SDGsを通して「未来の地域の姿」を想像! 年代も国籍も経験も違う参加者とグループワークで対話しながらいろいろな価値観を学びました。

### ←(株)カイセイカンパニー(介護・福祉サービス)提供プログラム

高校生と一緒に夏祭りを企画! 窓越しの交流でしたが、高校生が披露してくれた踊りに施設利用者のみなさんもニコニコリ。



## 地域の大人と高校生の「医療福祉座談会」開催!!

8月4日、医療・介護職に関心のある高校生を対象に「医療福祉座談会」(場所:新庄市民プラザ)を開催し、地元の医療現場で活躍する社会人から仕事の話をお聞きしました。「薬剤師」「理学療法士・診療放射線技師」「看護師・介護福祉士」の3コースに分かれ、希望する職種で参加者は真剣に耳を傾けていました。

また、実施後のアンケートでは、「実際に業務に従事されている方の話を直接聞くことが出来て、とても参考になった。」などの感想が寄せられ、医療・介護の仕事への興味・関心や、医療・介護分野への就業志望意欲を高めてもらうことができました。 [保健企画課 29-1257]



【薬剤師コース】



【理学療法士・診療放射線技師コース】



【看護師・介護福祉士コース】

## 地元働くもがみしごと——く 仕事の魅力発信

8月30日と9月22日、県立新庄北高等学校、県立新庄神室産業高等学校を会場に地元の職場で働く先輩から仕事のやりがいや新庄・最上での暮らしについてお聞きする特別授業を開催しました。

先輩方からは、お手製の“紙芝居”を使い、わかりやすく楽しいお話をいただきました。

自分の進路や将来を深く考える機会になるとともに、地元企業の魅力や地域との関わり、地域に戻ってくるきっかけを知れて良かったという感想が聞かれました。

今後も地元定着に向けた取り組みとして、最上地域にもたくさんの企業、仕事があること、また、地元で楽しく生き活きと暮らし活躍している方がいることを知ってもらう機会をつくっていきます。

[地域産業経済課 29-1309]



## 「最上地域「やまがた縁結びたい」人材育成セミナー」

### 地方から考える最近の婚活事情と独身者への寄り添い方・支え方のコツ

結婚を希望する男女の希望を叶え婚姻数の増加を図るため、8月30日、最上広域交流センター“ゆめりあ”において、一般社団法人日本結婚支援協会代表理事 田口智之 氏を講師に迎え、ボランティア仲人「やまがた縁結びたい」に登録を希望する方を対象とした結婚支援人材育成セミナーを開催しました。

講師からは、結婚をめぐる環境や考え方がこれまでとは大きく変化していることや、都市部と地方における考え方の違いのほか、独身者が思い悩んでいる実態について様々な事例を踏まえ、「なぜ結婚しない時代になったのか？」を読み解き、「結婚を希望する独身者を支えるための留意点」について、ご講演いただきました。

[子ども家庭支援課 29-1221]



## 子どものいい行動は“即”褒める！

9月15日、戸沢村中央公民館にて、保育士・幼稚園教諭等を対象に「発達障がい支援シリーズ基礎講座」及び「ペアレントサポート講座」を開催しました。山形県立保健医療大学の佐竹真次特任教授を講師にお迎えし、基礎講座では「気になる子どもの行動理解と保護者支援」をテーマに、支援者の対応を学びました。ペアレントサポート講座は講師が考案した4回シリーズで、子どもとのより良いかわり方を学びながら、日常の困りごとを解消し、楽しく子育てが出来るよう支援するプログラムです。参加者は和気あいあいと話合い、『「当たり前のことはいいいことなんだ」という言葉が心に響いた。』と、子どもを褒めるきっかけの言葉が聞かれました。

県では引続き、身近な地域の保健師や保育士等の発達障がい等に係る支援・助言の対応能力向上に取り組んでまいります。

[子ども家庭支援課 29-1361]



## ～みんないっしょ～ 親子でスポーツ！ 最上地域みんなで子育て応援団

### 10月1日(土)Zoom配信！会場も参加者も大盛り上がり♪

前半、伊藤淳子先生による親子ヨガでは親子で触れ合いながら楽しく体を温め、後半の沓澤保代先生による親子ダンスでは有名なあの曲たちで大盛り上がり！今回は会場に出演者の親子の方々が出て、とても賑やかなZoom配信となりました。画面の向こうで参加している方々も、すっかりZoomでのイベントに慣れた様子で、画面の出演者を見ながら楽しそうに体を動かしていらっしゃいました。

ご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

[子ども家庭支援課 29-1245]



# もがみの花が大集合



9月3日・4日、最上地域の花の魅力を広く消費者に知ってもらうため、「新庄・もがみフラワーフェスティバル 2022」を最上広域交流センター「ゆめりあ」にて開催しました！

3日の品評会では、トルコぎきょうやバラ、りんどうなど114点が出品され、最優秀賞の山形県知事賞には野尻直光さん（鮭川村）のりんどうが選ばれました。また、来場者の投票で決める「観客賞」を今年から設け、投票総数172票中16票を獲得した庄司静男さん（舟形町）のトルコぎきょうが選ばれました。

花きの展示・販売や生産者PR動画の放映などが行われ、来場者はSNS映えする飾花オブジェの前で記念撮影をしたり、立ち止まって動画に見入っている様子でした。

会場全体が色鮮やかな花に囲まれ、訪れた多くの人達に「最上産花き」の魅力をお伝えした2日間でした🌸

〔農業振興課・農業技術普及課 29-1317〕



山形県知事賞



## 🍎🍅🍆🍓🍌 最上のおいし〜い! がいっぱい! 🎵🍌🍓🍆🍅🍎



来場者で賑わった出店ブース

9月25日、新庄駅前交流広場（アビエス）において、最上地域の農畜産物を販売・PRする「もがみアグリフードフェスティバル」が開催しました。このイベントは、良質な最上産の農畜産物を地域の方に広く知ってもらい、消費拡大や生産者の生産意欲の向上に繋げようと企画しました。

会場には17団体が出店し、にら、ねぎ、アスパラガス、トマト等の野菜、りんどうやトルコぎきょう等の花き、マッシュルーム、きのこ、肉のほか、赤にんにく等の最上伝承野菜や農産加工品など、地域の多彩な農畜産物が揃いました。

当日は好天に恵まれ、高齢者から親子連れまで700人を超える方々が来場。「普段は地元で手に入らない物が買えてよかった!」といった声も聞かれ、最上地域の農畜産物の魅力を十分に伝えることができました。

〔農業振興課 29-1315〕



お買い物をして農畜産物が当たる抽選会も行われました

### 最上の魅力をPR!! 「MOGAMI マルシェ」を開催!

～秋のもがみ特産品産直フェア同時開催～

10月1日・2日に、やまぎん県民ホールイベント広場で観光情報の発信や特産品の販売を行う観光PRイベント、「MOGAMI マルシェ」を開催しました!

マルシェでは、きのこや最上伝承野菜をはじめとした旬の食材や加工品の販売のほか、お買い物いただいた方に最上地域を楽しめる景品が当たる抽選会の開催、ステージでは新庄囃子や角川太鼓などの郷土芸能の披露も行われました。

両日も好天に恵まれ、たくさんのお客様に最上地域の魅力をお知らせすることができました!

ご来場いただき、

ありがとうございました!

〔観光振興室・農業振興課 29-1311・1316〕



#### ご当地キャラも登場

おくらくん（大蔵村）、  
せんどうくん（戸沢村）、  
サッキー（鮭川村）

## 防災ワークショップを開催しました

9月11日、自主防災組織の活動活性化のため、新庄市川西町公民館において、地域の方を対象に「防災ワークショップ」を開催しました。防災に関する有識者を講師として呼びし、大雨や洪水を想定した災害図上訓練が行われ、地域の災害対応や避難方法について活発な意見交換が行われました。



[防災安全室 29-1209]

## 秋の交通安全県民運動最上地区出発式

秋の交通安全県民運動の展開にあたり、9月21日に、最上広域交流センター“ゆめりあ”にて、最上地区出発式が行われました。関係者約30名が集まり、交通事故防止に地域一丸となって取り組む決意をし、白バイや広報車両が出発しました。引き続き、関係機関と連携しながら、交通事故防止に向けて取り組んでまいります。



[防災安全室 29-1242]

## 新庄まつりの三日間

### 新庄まつり子育て支援事業

おむつ替え・授乳スペース、  
幼児用トイレの貸出して感謝の声

2年ぶりの新庄まつりでしたが、たくさんの方が遊びに来て下さり、当事業も計91名の方々に利用していただきました！助かります、ありがとうというお声をたくさんいただきました。さらにコロナ禍が落ち着くのを期待し、来年は当事業の事前周知を行いたいと考えておりますので、たくさんご利用いただけたら幸いです♪

最上地域みんな子育て応援団

[子ども家庭支援課 29-1245]

## 高坂ダムの流木を有効活用へ

9月9日、高坂ダムではダム湖から引き揚げた流木の無償提供を行いました。

流木の発生が多く、引き揚げた量が多い年はバイオマス発電等で活用するよう業者へ売却しますが、今年度は発生量が少なかったため資源の有効活用と県の経費節減として希望する方々へ無償提供したものです。当日は真室川町内外から大勢参加していただき、用意したほぼ全ての流木を配布する事ができました。



[高坂ダム管理課 63-2344]

## 道路功労者表彰

《最上地区から13年ぶり》

戸沢村の神田地区会が公益社団法人日本道路協会から「道路功労者」として表彰され、9月16日に表彰状伝達式が行われました。

住みよい地域づくりを目指し、地域の美意識を再認識することで、より住民が住み続けたいと思う一例となれるように取り組むことを目標に、県道新庄鮭川戸沢線と神田川口線約2.5kmの清掃や草刈活動を続けられております。

高橋代表からは「先輩方の力でいただいた。これからも道路の美化運動に努めていきたい。」と話がありました。

[道路計画課 29-1444]



## 令和3年度優良工事等を表彰

山形県建設技術協会最上支部では、最上地域の建設技術の向上を目的に、優良な工事及び業務の施工者、並びに優良な技術者を表彰しています。

9月22日に最上総合支庁講堂にて、令和3年度優良工事等の表彰を行いました。表彰された方は、以下のとおりです（敬称略）。

### 【支部長賞】

・星川建設(株)・大和工営(株)

### 【優良現場代理人表彰】

- ・星川 忠 様 (星川建設(株))
- ・津藤悠輝 様 (永井建設(株))
- ・大貫久男 様 (大和工営(株))
- ・八鍬浩行 様 (株双葉建設コンサルタント)
- ・安達正登 様 (株結城測量設計コンサルタント)



[建設総務課 29-1391]

・ Information ・

令和4年度第2回最上地域議員協議会

最上地域における課題や施策展開等について調査や審議を行うため、地元選出県議会議員による「最上地域議員協議会」が開催されます。

日時：11月18日(金)午後3時～

場所：最上総合支庁 講堂

当日会場で傍聴受付(午後2時30分～)をしています(事前申込不要)。どうぞお気軽にご参加ください。

[総務課 29-1211]



第7回最上小国川写真コンテスト  
作品募集中!

最上小国川清流未来振興機構では、「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに写真コンテストを開催中です。最上小国川の魅力を撮影した作品を募集していますので、ぜひご応募ください。

■募集期間：令和4年11月30日(水)まで

■入賞：最優秀賞1点、優秀賞3点程度、入選5点程度、特別賞3点程度

※賞金のほか最上小国川流域の特産品を贈呈

■審査結果発表：令和5年1月頃予定

詳しくはHPをご覧ください。

(右のQRコードを読み込んでください)

[連携支援室 29-1240]



自分らしくを育む  
「山形県最上地域移住セミナー」

日時：10月29日(土) 17:30～19:30

場所：東京交通会館4階/オンライン

定員：現地参加20名、オンラインは無制限

内容：最上地域の豊かな自然環境で子どもと一緒に“自分らしく”を育む先輩移住者とのトークセッションや市町村との個別相談会

◆IUUターンをお考えの

お知り合いの方にもぜひご紹介ください!

※詳細は「やまがた暮らし情報館HP」から⇒

[連携支援室 29-1235]



誰もが主役・輝く最上のひとづくりシンポジウム

11月6日(日)、「ゆめりあ」にて、最上で輝く女性達によるシンポジウムを開催します。参加申込みは、下記QRコードからお願いします。



[子ども家庭支援課 29-1245]

「おいしい適塩ランチ」第3弾!

場所：最上総合支庁食堂「千起」

日時：10月19日(水)11時30分～

価格：600円(100食限定です!)

メニュー：汁なし担々うどん、フルーツヨーグルト 他



8月19日(金)実施の食塩0gうどんを使用した適塩ランチでは、「無塩のうどんでも違和感なくおいしい」「ぜひ麺を購入したい」などの感想をいただきました。また、週替わり定食でも提供し、よりたくさんの方に適塩ランチを召し上がってもらえました。今回も無塩うどんを使用した「汁なし担々うどん」を提供します。塩分控えめでもおいしいランチをお試しくさください。【地域健康福祉課 29-1267】

11月14日は「世界糖尿病デー」  
11月13日～19日は「全国糖尿病週間」

糖尿病の患者数は、生活習慣や社会環境の変化により増加しています。糖尿病を予防するために、重症化を予防し命を守るために、糖尿病をもつ人と地域で一緒に生活するために、あなたの正しい理解が必要です。パネルやパンフレットを配置しますのでぜひご覧ください。

期間：11月7日(月)～18日(金)

場所：最上総合支庁ロビー

[地域健康福祉課 29-1267]

## 令和4年度最上農業賞表彰式・記念講演会

日時：11月24日（木）13:30～15:20

場所：ニューグランドホテル新庄

【表彰式】13:30～14:00

最上地域の優れた農業者や生産組織等を表彰します。平成元年から始まり、これまで70の個人、団体が受賞しています。

【記念講演会】14:10～15:20

テーマ「次世代につなぐ企業的農業経営の実践」

講師 ㈱サンファームしらたか

代表取締役 小口 尚司 氏

参加申込：農業技術普及課（29-1322）に電話で申込みください。

★毒きのこによる食中毒に気をつけましょう！

夏の気温が高く、その後適度な降雨があり、朝晩の気温が低下すると多くのキノコが発生することが考えられます。食用のキノコと確実に判断できないキノコは絶対に…

**「採らない！食べない！**

**売らない！人にあげない！」**

キノコを食べて体調が悪くなったらすぐに病院を受診しましょう。



[保健企画課生活衛生室 29-1260]

## 秋もクマに注意！

秋はクマが冬眠に向けて餌を求めて活発に動き回ります。このため、行楽やキノコ狩りなどで人とクマが出会う機会が多くなります。



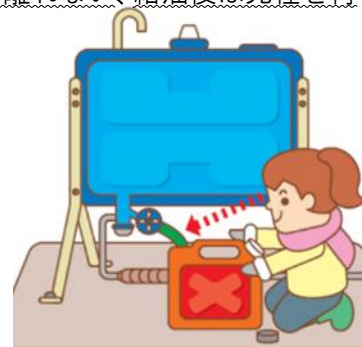
また、今年クマの目撃情報が特に多くなっており、今後もクマが人里へ出没することが予想されます。さらに、県内ではクマによる人身被害の7割が9～11月に発生しています。

山林や田畑に行くときは、ラジオやクマ鈴など音の出る物で、人の存在をクマに知らせましょう。

[環境課 29-1285]

## 油流出事故に注意しましょう！

冬は暖房器具に灯油を使用するため、灯油が側溝や河川に流出する事故が増える傾向にあります。給油中はその場を離れない、給油後は元栓を再確認、タンク残量の定期的な確認等、取扱いに注意しましょう。最上地域のきれいな河川を守りましょう。



[環境課 29-1286]

## ～新型コロナウイルス感染症～

### 基本的な感染防止対策の徹底をお願いします！！

本県も含め全国的に、新規陽性者数の減少傾向は続いています。依然として高い水準にあり、医療機関や保健所など保健医療体制の負荷が大きくなっています。

新規陽性者数の減少を確かなものとし、保健医療体制のひっ迫を回避するため、県民の皆様及び事業者の皆様におかれましては、以下のことについてご理解、ご協力をお願いします。

- ・場面や状況に応じた不織布マスクの正しい着用や、換気の励行、ゼロ密（密閉、密集、密接の全てを避ける）、こまめな手洗い、消毒など基本的な感染防止対策の徹底を引き続きお願いします。
- ・河川敷など屋外で芋煮会を行う場合、人と人との適切な距離を確保する、会話をする時はマスクを着用するなど感染防止対策の徹底をお願いします。
- ・高齢者や基礎疾患がある重症化リスクの高い方及びそのご家族は、できるだけ感染リスクが高い行動は避けるなど感染防止対策の徹底をお願いします。

[保健企画課 29-1268]

発行日：令和4年10月14日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HP

